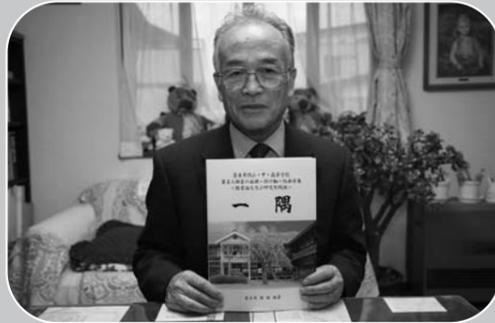


トピックス **プラス**

10/20

学校にある貴重な文化財を冊子に

市内の小中学校、高校にある著名人などが制作した扁額（横額）や掛軸、絵画などを多くの人たちに紹介しようと、元教員の富士原勝衛さん（迫町）が自費出版で「一隅」を発売しました。富士原さんは、5年の年月をかけて自ら取材や編集をして冊子を作成。市内の公民館や図書館で読むことができますので、興味のある人はご覧ください。



▲市内の小中学校、高校にも寄贈された「一隅」

11/17

これからの地域づくりには“協働”

市協働のまちづくりフォーラムが11月17日、登米祝祭劇場で行われ、市内の一般住民約300人が参加しました。高崎経済大学准教授の櫻井常矢さんが、「協働でひろく、これからの地域づくり」と題して基調講演。布施市長との協働のまちづくり対談やシンポジウム、アトラクションなども行われ、参加者は協働の必要性や大切さを学びました。



▲布施市長と協働について対談する櫻井さん

11/28

方言を交えた寸劇で防火の誓い

第2回シルバー火災予防フェスティバルが11月28日、登米祝祭劇場で開催され、市内の高齢者約500人が参加しました。消防職員による寸劇は、方言を交えてユーモラスに心肺蘇生法の実演や住宅用火災警報器の悪徳訪問販売の注意を呼び掛け。そのほか、健康体操やマジックショーなどが行われ、最後は全員で火災予防宣言を行い防火を誓いました。



▲消防署員が寸劇を披露した火災予防フェスティバル

12/1

鮮やかな衣装で軽快なダンス

第8回市レクダンス・サークル交流会が12月1日、中田総合体育館で行われ、市内で活動する16サークルから約370人が参加しました。レクダンスとは、演歌やポップスなどの曲に合わせて踊るレクリエーションダンスのことをいいます。交流会は3部構成で行われ、参加者全員によるダンスや各サークルの息の合ったダンスが披露されました。



▲会場全体を使った参加者全員によるダンスは圧巻

**津山で卒業記念熱気球搭乗体験
小学校最後の思い出を気球で**

3月に卒業する柳津・横山小の6年生が、卒業記念として11月17日に熱気球に搭乗しました。この事業は、上空から思い出の詰まった校舎や自分たちの住むまちを見て、この地に学び学んだという思い出を心に残してもらおうと、みやぎ北上商工会青年部津山支部が毎年企画しているもの。気球に乗った児童たちは、上空から校庭にいる友達へ元気に手を振ったり、町内の素晴らしい景色を眺めたりしました。熱気球に乗ったことや上空から見た風景は、きっといつまでも心に残る思い出となったことでしょう。



▲柳津・横山小のそれぞれの校庭で行われた卒業記念熱気球搭乗体験



▲地区内外から15チームが参加し優勝目指してタスキをつなぎました

**豊里で駅伝競争大会
タスキをつないで優勝目指し**

第21回豊里地区駅伝競争大会（豊里地区体育協会・豊里公民館主催）が12月2日、町内コースで開催されました。友人や学校の部活動仲間など、地区内外から15チームが参加。6区間15.8kmでタスキをつなぎ、竹花チームが優勝の栄冠に輝きました。大会終了後には、豊里婦人会の会員が作った500人分の豚汁や豊里町青年会による温かいコーヒーが振る舞われ、走り終えた選手や応援に掛け付けた人たちは、おいしそうに食べていました。なお、豚汁用の豚肉は、侘比ッグ夢ファームから寄贈されたものです。

**北上保育園で防火講習会ともちつき
もちつきで「火の用心！」**

防火講習会ともちつきが12月7日、北上保育園で催され、園児や保護者らが参加しました。この行事は、幼いころから防火の大切さを学んでもらおうと、同園が毎年開催しているもので、市消防署津山出張所の署員が指導に当たりました。園児たちは、そろいの法被を着て、防火ビデオを見て防火の大切さや近い将来発生が予測されている地震災害への対応を学習しました。また、講習会終了後には、きねと臼を使った昔ながらのもちつきに挑戦。つきたてのモチをおいしそうに食べながら、防火を誓っていました。



▲そろいの法被を着てもちつきに挑戦する北上保育園の園児たち